

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
7 5	福島県立白河第二高等学校	定時制

アドミッション・ポリシー

白河第二高校では、次のような生徒を求めています。

- ① 教室でみんなと過ごす時間を大切にし、学ぶ意欲や学び直す意欲を高く持つ生徒を募集します。
- ② 社会のルールやマナーを守り、自分や他人を大切にすることができる生徒を募集します。
- ③ 夜間定時制高校の特色を理解し、夜間の学業に専念しながらも、昼間時を有効に使おうとする生徒を募集します。

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒像				
普通科	2 0 % 程度	本校では、勤労と学業の両立を通して、良識ある判断と行動力の獲得、健康で心豊かな生活の実現を目指しており、次のような生徒を求めます。 【学ぶ意欲】 クラスや集団の中で切磋琢磨しながら学び、学力をはじめとする自らの能力を高めたいという強い希望がある者。 高校卒業の資格を修得したいという強い意志を持ち、各教科の学習や特別活動に積極的に取り組むことができる者（年齢は問わない）。 【働く意欲】 現在、社会人として就労（アルバイトを含む）している、または入学後に就労する具体的な計画がある者。 【目 標】 失敗を恐れず、何事にも挑戦し、自分を成長させたいという意欲がある者。 将来の夢を持ち、その実現に向かって努力することができる者。 【健康と心】 4 年間継続して勤労と学業を両立し、規則正しい生活習慣を送ることができる者。 善悪の判断ができ、自分や他人を大切に扱うことができる者。 【そ の 他】 夜間定時制高校についての知識があり、白河第二高校の概要を理解している者。				
選 抜 資 料						
学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
国語・数学・英語の 3 教科とする。 学力検査の満点を 1 5 0 点とし、傾斜配点は行わない。	本校への志望動機及び将来への抱負、高校生活で特に学びたいこと等について本人が記入する。 また、全日制や通信制課程でなく、定時制課程を希望する理由を記入する。	「各教科の学習の記録」は 1 3 5 点満点とし、「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は 5 5 点満点として、合計 1 9 0 点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校での学ぶ意欲や受験者が自らの考えをまとめ適切に伝えることができるかをみる。 面接については、段階評価する。	作文を実施する。 あるテーマについて、6 0 0 字程度で自分の考えを整理しまとめる。 特色検査については、1 0 0 点満点とする。	全体の満点は、4 4 0 点とする。	※平成 31 年 3 月末日までに中学校を卒業した者については、調査書の提出を免除する。

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
普通科	(4 0)	国語・数学・英語の 3 教科とする。 学力検査の満点を 1 5 0 点とし、傾斜配点を行わない。	「各教科の学習の記録」は 1 9 5 点満点とし、「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は 5 5 点満点として、合計 2 5 0 点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 志願者の適性と目的意識を確認するとともに、表現力についてみる。 面接については、段階評価する。 ※特色選抜との併願者は、特色面接の実施をもって一般面接の実施とみなす。	同等とする。	※平成 31 年 3 月末日までに中学校を卒業した者については、調査書の提出を免除する。

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
普通科	「各教科の学習の記録」は 1 3 5 点満点とし、「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は 5 5 点満点として、合計 1 9 0 点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校での学ぶ意欲や受験者が自らの考えをまとめ適切に伝えることができるかをみる。 面接については、段階評価する。	作文を実施する。 あるテーマについて、6 0 0 字程度で自分の考えを整理しまとめる。 作文については、点数化し、1 0 0 点満点とする。	※平成 31 年 3 月末日までに中学校を卒業した者については、調査書の提出を免除する。